



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒 【寛容】明朗で思いやりのある生徒 【挑戦】健康でたくましい生徒
〈重点目標〉自ら考え、判断し、目標に向かって実践する生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和4年6月3日（金）
第9号
発行責任者
校長 志賀 嘉津美
電話 22-3802

体験型自転車交通安全教室

スケアード・ストレイト（恐怖の直視）教育技法を取り入れた自転車交通安全教室を5月25日（水）に実施しました。これは、スタントマンによるリアルな交通事故の再現を直視することで、怖い思いやヒヤッとする体験を通じて啓発効果を高める教育技法です。

生徒からは、「事故の怖さを目の前でみて、それを自分や家族に置き換えるとぞっとします。今まで以上に事故への注意の意識が高くなりました。」「自転車と自動車がぶつかったときの音が耳に残っています。人間はあんなに簡単に飛ばされてしまうことがわかりました。」「事故は一瞬のうちに起こることを実感しました。」などの感想がありました。ほとんどの生徒が事故の様子を自分事として考えていたようです。また、「ブレーキをかけたらずぐに止まれるぐらいの速さで自転車を運転したい。」「車のドライバーには死角があることがわかりました。ドライバーとの『アイコンタクト』を実践したいと思います。」などの感想も聞かれました。



開催にご尽力いただいたJ Aふくしま未来様・J A共済連様、そして当日、ご講話をいただいた南相馬警察署 有松交通課長様・太田駐在署 大島巡査長様に感謝申し上げます。東京からお越しいただいたスーパードライバーズの皆様、ありがとうございました。

住みやすい社会を目指して 高齢者疑似体験

5月26日（木）に南相馬市社会福祉協議会からお二人の講師を迎えて、3年生対象の高齢者疑似体験を行いました。

ヘッドホンを装着することで高音性の難聴が再現され、言葉の明瞭度が落ち、内容の聞きづらさが体験できました。また、ゴーグルを装着することで加齢から生じる白内障によって起る色覚変化（ぼやけて見える機能や視野の狭さ）なども体験できました。他にも、おもりやサポーターを身につけ、体が思うように動かすことのできない体験をしていました。階段の上り下りはもちろん、文字を読むにも、箸を使うのも苦労していたようです。



相手の立場になって考えてみる、そして自分ができるところを行動に移すことは、誰もが住みやすい社会をつくっていくことの第一歩です。今日の体験を9月に行われる福祉施設体験や今後の生活に生かしてほしいと思います。

地域の力 P T A奉仕作業

5月28日（土）7時30分より、「P T A奉仕作業」を実施しました。当初の予定は、「P T A親子奉仕作業」でしたが、市内の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、急遽P T Aのみの奉仕作業とし、開催しました。お陰様で校庭の南側やテニスコート周辺が大変きれいになりました。

お休みのところ、早朝より多数の保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。本年度は、新型コロナ対策を十分に施した上で、可能な限りP T A活動を実施していきたいと思っています。引き続きご協力をお願いいたします。



わかる・できる授業の実現を目指して 学校訪問

5月30日（月）
福島県教育庁相双教育事務所及び南相馬市教育委員会の皆様にお迎えし、授業を参観していただきました。本校の学校経営・運営ビジョンにある「わかる授業、できる授業」の実践のため、全職員の授業を参観した後、授業改善のための指導助言をいただきました。



学習の取組や学校の様子などから、生徒は大変落ち着いていて、環境整備もよく行き届いていると感想をいただきました。普段の姿を評価していただけたことを大変嬉しく思います。

午後の研究協議会では、よりよい授業づくりへのご助言をたくさんいただきました。今後も、自ら進んで学ぶことのできる生徒の育成に向けて、教職員一体となった学校づくりを進めていきたいと思いをします。

ダメ。ゼッタイ。 薬物乱用防止教室

5月31日（火）に1年生を対象にした薬物乱用防止教室を相双保健所の主任薬剤師 宮田様を講師にお迎えし実施しました。薬物乱用問題は、全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、社会や国の安定を脅かすなど、人類が抱える深刻な社会問題の一つとなっています。近年では SNS で簡単に入手できてしまう手軽さ等から若年層における大麻乱用の広がりが懸念されているとのことでした。

乱用される薬物には「依存性」と「耐性」があり、繰り返し使わずにはいられなくなる、繰り返し使ううちに同じ量では効果が弱くなる、という特徴があること、依存性には、一旦治療して治ったようでも、ささいなストレスなどで幻覚や妄想などが再燃する「フラッシュバック」という特徴があることも説明していただきました。私たちが乱用薬物に対して、自分に関係ないと油断していると、いつの間にか魔の手にかかってしまう可能性があります。

今回、教えていただいたことを基に、大切な人生を歩んでいくためには、薬物とどのように向き合っていけばよいのか、乱用を防ぐためにはどうすればよいのかを考え、豊かな生活を送ってほしいと思います。



福島県中学校体育大会相双地区予選会 組み合わせ

6月8日（水）、9日（木）に開催される標記大会の組み合わせ（団体戦）をお知らせします。（個人戦の組み合わせについては、各部からの通知をご覧ください。）

【バドミントン男子】ほっと・もっとアリーナ

Aブロック	Bブロック	Cブロック
中村一中	広野中	原町一中
原町二中	原町三中	鹿島中
檜葉中	川内小中学園	双葉中

【バドミントン女子】ほっと・もっとアリーナ

Aブロック	Bブロック	Cブロック
中村一中	原町三中	鹿島中
原町二中	原町一中	いいたて希望
川内小中学園	広野中	檜葉中

【ソフトテニス女子】南相馬市テニスコート

Aブロック	Bブロック
中村一中	鹿島中
小高中	石神中
原町三中	向陽中
原町二中	原町一中
中村二中	ふたば未来

※バドミントンは無観客、ソフトテニスは有観客（選手一名に対して観客一名）で行われます。詳細につきましては、各部の引率計画をご覧ください。